

「ファミリーあんしん防災講座」

日時 令和5年9月16日(土) 9:30～11:30  
 場所 いたみいききプラザ3階 会議室1、人材養成・研修室

講師 イタミライフキーパー 防災士 宮崎涼二さん  
 定員 22名(先着順)  
 一時保育 10名(先着順、要予約)1歳以上就学前まで 1人 300円  
 申込 育児ファミリー・サポート・センター TEL 772-4560  
 受付は、令和5年8月1日(火)からです。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております

サブリーダーさんの紹介

令和5年度お世話になる5人のサブリーダーさんです。センター閉所時に緊急依頼が発生した時はアドバイザーにかわり援助依頼を受け付けて調整したり、講座のお手伝いもしていただきます。とても心強い協力会員さんでもあります。



谷さん(寺本) 小野さん(伊丹) 浅尾さん(奥畑) 木山さん(行基) 木場さん(瑞ヶ丘)

ひとりで頑張らないで♡ みんなで子育ていたしましょう

事務局よりおねがい

- 令和5年度がスタートしました。活動後の令和4年度の活動報告書がまだお手元にありますら、早急にセンターまでご提出をお願いいたします。
- 利用料金を支払う際、お子さんの目の前で財布から直接現金を手渡しされていませんか・・・  
 こどもの目の前なので、金銭の授受にご配慮をお願いします。封筒に入れたり、紙に包んでお渡しいただくお心遣いで、お互い気持ち良いおつきあいができると幸いです。どうぞよろしくおねがいいたします。

報酬に対する課税について

ファミリー・サポート・センターの援助活動で得た報酬額(おやつ代、食事代、交通費、おむ代等の実費は除く)は、税法上「雑所得」となります。  
 雑所得(ファミサポの報酬額)と、給与所得(他のパート、アルバイト等で得た収入)の合計が年間(1月1日～12月31日)で48万円を超えると、課税対象となります。  
 また、サラリーマンの方は、給与所得及び退職所得以外の雑所得を含めた所得金額の合計が年間20万円を超えると確定申告等の対象となります。  
 \*詳しくは勤務先及び国税庁のホームページ、税務署にて確認してください。

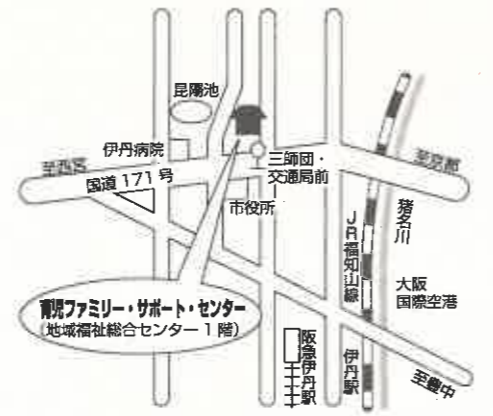
会員 随時募集中!!

年々援助の輪が広がっておりますが、中にはまだ育児ファミリー・サポート・センター事業をご存知ない方もいらっしゃると思います。今お近くに、支援が必要な方、また、今なら支援ができるという方がいらっしゃいましたら、このお便りと共にご紹介いただければありがたいと思います。よろしくおねがいいたします。

お申し込み・お問い合わせ先

伊丹市育児ファミリー・サポート・センター事務局  
 〒664-0014 伊丹市広畑3丁目1番地  
 伊丹市立地域福祉総合センター1階(いたみいききプラザ)  
 TEL・FAX 072-772-4560

開館時間 午前9時～午後5時まで  
 休館日 日・祝日、年末年始  
 交通機関 JR伊丹駅または阪急伊丹駅から市バス昆陽里行きで三師団・交通局前バス停下車すぐ



# 育児ファミリーサポート便り

発行年月 令和5年6月  
 第53号



育児ファミリー・サポート・センターは、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互いに会員になって、子育て中の人や働く人の家庭を地域で支えるシステムです。

発行者：伊丹市育児ファミリー・サポート・センター

申込随時 令和5年度 必須講座 第1回

こどもの世話	こどもの栄養と食生活	安全・事故
「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」	「こどもの栄養と食生活」	「乳幼児の緊急救命講習会」
講師 市健康政策課 保健師	講師 市健康政策課 栄養士	講師 イタミライフキーパー 応急手当普及員
6月30日(金) 9:30 ~ 11:00	6月30日(金) 11:10 ~ 12:40	7月1日(土) 9:30 ~ 11:00
場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	場所 いたみいききプラザ3階 会議室1
安全・事故	心の発達とその問題	保育の心
「事故対策講習会」	「こどもの障がいの種類や特徴について」	「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」
講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク	講師 市こども発達支援センター 職員	講師 市立こばと保育所 副所長
7月2日(日) 9:30 ~ 11:00	7月4日(火) 9:30 ~ 11:00	7月2日(日) 11:10 ~ 12:40
場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	場所 いたみいききプラザ3階 会議室1
心の発達とその問題	心の発達とその問題	子育て支援サービスを提供するために
「障がいのあるこどもの関わり方について」	「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」	「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」
講師 市こども発達支援センター 職員	講師 市こども発達支援センター 職員	講師 育児ファミリー・サポート・センター アドバイザー
7月4日(火) 11:10 ~ 12:40	7月4日(火) 11:10 ~ 12:40	7月5日(水) 9:30 ~ 11:00
場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	場所 いたみいききプラザ3階 会議室1	場所 いたみいききプラザ3階 会議室1

厚生労働省より通知があり、乳幼児の緊急救命講習会(AED、心肺蘇生等)及び事故対策講習会について、預かりを行うためには5年に1回の受講が必須となりました。平成29年度に必須の乳幼児の緊急救命講習会(AED、心肺蘇生等)及び事故対策講習会を受講された方は今年度受けていただきますようよろしくお願いいたします。

預かりを行う会員は全8講座の受講が必要です。  
 ★各講座には定員がありますので事前にお申込みください。★参加費は無料  
 ★一時保育あり(1歳以上就学前まで) 一時保育料(1人 300円 2人目以降 150円)  
 \*事前に事務局にご連絡ください \*一時保育室は会議室2にて

# ごあいさつ

伊丹市子育て支援センター長  
伊丹市育児ファミリー・サポート・センター所長  
**岡田 章**

この度、4月より子育て支援センター長兼育児ファミリー・サポート・センター所長に着任いたしました岡田章でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ファミリーサポートセンターでは子育て中の家族がずっと笑顔でいられるように人と人をつなぎ支援の輪を広げ、安心して子育てができる環境と地域づくりを目指しています。平成9年の事業開始から、ただ預かるだけではなく、子どもの成長を通してその家族と地域が絆を深めていくことを目的として活動してきました。

コロナ禍が長期化し活動に制約がありましたが、5月8日から新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に位置づけられたことによ

り、これまで講じられていたいろいろな感染対策が見直されることになりました。新しい生活様式が定着しつつありますが、「子育て支援」はインターネットでできるものばかりではなく、対面して実際につながっていくことが、支援を必要としている子育て中の家族にとっては大きな力になると思います。

子育てのお手伝いをしてほしい「依頼会員」、地域の子育て支援のお手伝いをしたい「協力会員」双方が、その願いを叶え地域の絆がより一層深まっていくよう、私たちは活動の橋渡しをしていきたいと思っております。

今後とも会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 令和4年度 講座の報告 スキルアップ講座

令和4年12月3日(土)

### 心を揺さぶる絵本の時間

●講師 NPO法人「絵本で子育て」センター 羽石憲子さん

人は、様々な体験をすることにより(感じる)→(考える)→(行動する)ことができ、心が豊かに育っていくものである。コロナ禍で体験することが減っているが、絵本を通して、何度も疑似体験でき、読んでもらうことによって絵本からの温かさと読み手からの愛情をダブルで感じることができる。赤ちゃんでさえ、言葉にすることはできないが様々な気持ちを感じながら絵本を見て聴いて、愛情を感じ心が豊かに育っていくと教えていただきました。



令和4年12月11日(日)

### ちょっと気になる子のサポート

●講師 ドコデモ 榎本英樹さん

先生の最初の手あそびマジックに全員が引きこまれ、すぐにみなさん打ち解けて、ワークをやったり話し合ったり大変盛り上がりしました。

ついつい使ってしまう言葉を絵にしてみると、とてもむずかしく伝えにくい伝わらない事に気づきました。子育てや援助の際は、支援ポイント(視覚的・具体的・肯定的・共感的)を心がけ、できないのではなくやるべきことがわからないので、環境を変えたり私たちが変わっていくことと支援グッズやアイデア等でできるようにしていくと教えていただきました。



令和5年2月2日(木)

### 子どもの症状別ケアと大人の健康管理

●講師 市健康政策課 保健師 三輪麻緒さん 石川愛さん

子どもの死因の上位を占める不慮の事故(「窒息」「建物からの転落」「溺水」)のそれぞれの原因と予防策を事例とともに教えていただきました。後半は、体組成計で測定した結果の説明をご自身のデータと照らし合わせ、一喜一憂されていました。最後に電動自転車等の普及やコロナ禍で脚力がとても弱っていることもあり、自宅でする簡単なストレッチを実践してみました。



令和5年2月4日(土)

### より良いコミュニケーションから考える ～いきいき子育て～

●講師 女性ライフサイクル研究所 フェリアン 森崎和代さん

現代は、生身のコミュニケーションが激減しているのでコミュニケーショントレーニングが必要な時代。感じてはいけない感情はないが、自分自身のコミュニケーションパターンを知り、アサーティブコミュニケーション(自分も相手も大切にしようとするコミュニケーション)という方法を知りました。そのポイントとして(①自分の気持ちを明確に把握する②自分を主語にして、自分の気持ちを表現する③トラブルを否定的にばかり捉えない④問題解決的に考える⑤失敗を恐れない)とわかりやすく教えていただきました。



## 必須講座(令和4年度第2回)

19名の方に要請いただき、その内5名が全受講されましたので、修了証をお渡しいたしました。

1月25日(水)

安全・事故

### 「事故対策講習会」

講師 NPO法人 C・キッズ・ネットワーク 大森節子さん

屋外での様々な危険な箇所や内容を知り、室内とは違う危険がたくさんあることに驚き、屋外では配慮して行動することの大切さを実感されました。大人や周りの人の見守りで防げることの多さやこどもの視野の狭さにびっくりされていました。



1月25日(水)

子育て支援サービスを提供するために

### 「実際に活動を行うにあたっての手順やルール、注意事項について」

講師 育児ファミリー・サポート・センターアドバイザー

安心・安全に援助活動をしていただくために、手順やルール、実際の援助内容での注意事項等について、説明しました。「こんな時どうする?」では、和やかな雰囲気の中で、前後の人と真剣に取り組んでいただき、最後には、料金の計算を実際に行ってもらいました。



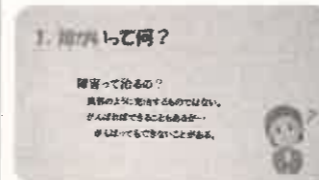
1月26日(木)

心の発達とその問題

### 「こどもの障がいの種類や特徴について」

講師 市こども発達支援センター 職員 井上真紀子さん

現在の「障がい」の考え方(困っているところに目を向けようすれば参加できるかを考える)や、伊丹市の取り組み、こども発達支援センター(通称:あすばる)のサポートについて知ることができました。



1月26日(木)

心の発達とその問題

### 「障がいのあるこどもとの関わり方について」

講師 市こども発達支援センター 職員 井上真紀子さん

こどもとの関わり方の大切なポイント(①マイナス言葉をプラス言葉(～しないで!→～しようね。)に変える②こどもの行動の特徴をつかむ③こどもにわかる伝え方(簡単に、わかりやすく、具体的に)④できたことをほめる)を教えていただきました。こんなときどうする?のワークでは、積極的に話し合っていました。保護者に対してはアドバイスはしないで、まずは黙って話を聞くことが大切と学びました。



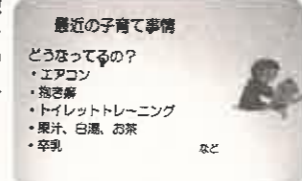
1月27日(金)

こどもの世話

### 「こどもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

講師 市健康政策課 保健師 加地優香さん

最近の子育て事情では、断乳ではなく卒乳、トイレトレーニングはゆっくりと、母子手帳には、ママの気持ちを書く欄やうちの色の写真も綴じられていることを知りました。0歳から小学6年生までのこどもの年齢別成長発達の流れや危険な物・場所・対策方法を教えていただきました。



1月27日(金)

こどもの栄養と食生活

### 「こどもの栄養と食生活」

講師 市健康政策課 栄養士 池田典子さん

食中毒を防ぐための3原則(付けない、増やさない、やっつける)と6つのポイント(食品の購入、家庭での保存、下準備、調理、食事、残った食事を)を教えていただきました。普段何気なく食べているパン・お菓子・子ども用ジュースには、砂糖や脂質が大量に含まれているので、1日の摂取量をはるかに超えてしまうことを知りました。



1月28日(土)

安全・事故

### 「乳幼児の緊急救命講習会」

講師 イタミライフキーパー 応急手当普及員 宮崎涼二さん 吉川潔志さん

救急車が来るまでの応急手当の重要性や緊急性、大切さを教えていただきました。実際の実習では身体の使い方、手の組み方、ひじを曲げない、助けを呼ぶ際の方法等を一人一人にご指導いただきました。



1月29日(日)

保育の心

### 「育児支援者としての心構えと親子との関わり方について」

講師 市立こばと保育所 副所長 月岡 薫さん

保護者やこどもとの関係づくりについて保育所での対応方法などについてお話していただきました。子育てを取り巻く環境が変わってきている(核家族化し近隣との関係が希薄になり、情報があふれる中、育児不安の人が多いため)ので、まず保護者やこどもの気持ちを受け止め、共感しながら言葉をかけることの大切さを教えていただきました。



## 令和4年度 活動報告

会員数	
依頼会員	1,789人
協力会員	390人
両方会員	164人
合計	2,343人

活動内容BEST5		
1位	保育施設の保育開始前や保育終了後の預かり	278件
2位	保育施設までの送迎	260件
3位	放課後児童くらぶ終了後の預かり	207件
4位	産前・産後の預かり	195件
5位	保護者の自宅就労、短時間・臨時的就労の際の預かり	168件
総件数		1,669件